

24. 熊本県水俣市

エコタウン名称	水俣エコタウン		
承認年	平成 13 年		
エコタウンの特長	<p>水俣市が目指す資源循環型地域づくりの基盤となるのは、水俣病の経験を教訓に基づいた「市民の高い環境意識」や「地元企業の先進的な技術」、「環境情報発信・交流」等の環境資源であり、まさにこれらが「水俣における環境産業を発展させる環境資源の蓄積」である。以上を踏まえ、エコタウンプランの基本コンセプトとしては、大きく3つを掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資源循環型経済社会づくりと環境共生を目指す行政・産業界・市民が一体となった「総参加型」 ●身近な素材(原料)や技術を活用し、4Rの実現に繋がるような「地域密着型」 ●大都市におけるコンビナート型など従来のスタイルとは異なる「中小都市のモデル」 <p>工場跡地約20ha を整備した水俣産業団地を総称し「総合リサイクルセンター」として位置づけ、このエリアを中心に8つのリサイクル関連施設が稼動している。</p>		
URL	http://www.city.minamata.lg.jp/1642.html		
自治体の取組	財政面の支援	例) 補助金、優遇措置、等	・市内に立地する環境関連施設で組織する協議会が中心となって、環境活動の啓発並びに事業の周知を目的とし毎年開催しているイベント活動に対し、予算の範囲内で補助金の交付を行っている。
	事業面の支援	例) 独自の認定制度、展示会、商談支援、等	・市が主体となって、「エコテクノ」に出展し、水俣におけるエコタウン全般の周知活動を行うよう検討中である。
	その他	例) 産官学連携、協議会等の設置、情報発信、等	・市が「エコタウン企業」として認定した企業を中心にまとめたパンフレットを作成し、各種展示会や視察があった際に周知活動を行っている。
問合せ先窓口	担当部署名	産業建設部 総合経済対策課	
	担当者名	山内 達大郎	
	連絡先	電話番号	0966-61-1628
		FAX	0966-63-5547
		E メールアドレス	keizai@city.minamata.lg.jp

24.1 株式会社みなまた環境テクノセンター

24.1.1 事業者情報

※ 技術情報、実績情報なし

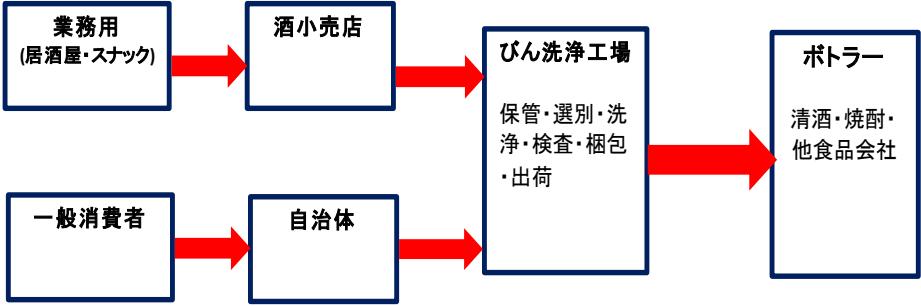
名 称	株式会社みなまた環境テクノセンター						
本社住所	〒867-0068	熊本県水俣市浜松町 5-98					
資本金、出資金	15,200 千円						
従業員数	3 人						
設立年月日	平成 11 年						
URL	http://www11.ocn.ne.jp/~mktc/index.html						
事業概要	①産・学・官との連携による共同研究開発の委託事業 ②環境関連調査等の委託事業 ③環境人材育成事業の委託事業 ④地場企業等の相談業務及び情報提供 ⑤その他事業						
事業所写真							
問合せ先窓口	部署名	(株)みなまた環境テクノセンター					
	担当者名	岩井 昭洋					
	連絡先	<table border="1"> <tr> <td>電話番号</td> <td>0966-62-0639</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>0966-68-9041</td> </tr> <tr> <td>E メールアドレス</td> <td>mktc@carol.ocn.ne.jp</td> </tr> </table>	電話番号	0966-62-0639	FAX	0966-68-9041	E メールアドレス
電話番号	0966-62-0639						
FAX	0966-68-9041						
E メールアドレス	mktc@carol.ocn.ne.jp						

24.2 株式会社田中商店

24.2.1 事業者情報

名 称	株式会社田中商店						
本社住所	〒862-0969	熊本県熊本市南区良町五丁目 22 番 26 号					
資本金、出資金	40,000 千円						
従業員数	30 人						
設立年月日	昭和 29 年						
URL							
事業概要	<p>新びん、古びん、の総合卸売業として設立し、平成 12 年度水俣エコタウンの中核事業として、びんのリユース、リサイクル設備を翌年 10 月に水俣営業所を新設し、新たにガラスびんリサイクル景観舗装事業・ガラス工芸事業・BDF 事業・水資源リユース事業・古紙リサイクル事業等を展開し、水俣工場は年間 3,000 人程度の来場者が来られる見学工場になっている。</p>						
事業所写真							
問合せ先窓口	部署名	株田中商店 水俣営業所					
	担当者名	専務取締役 田中利和					
	連絡先	<table> <tr> <td>電話番号</td><td>0966-69-2711</td></tr> <tr> <td>FAX</td><td>0966-69-2712</td></tr> <tr> <td>E メールアドレス</td><td>ecb-minamata@arion.ocn.ne.jp</td></tr> </table>	電話番号	0966-69-2711	FAX	0966-69-2712	E メールアドレス
電話番号	0966-69-2711						
FAX	0966-69-2712						
E メールアドレス	ecb-minamata@arion.ocn.ne.jp						

24.2.2 技術情報

キーワード	ガラスびん			
技術名称	多品種びん対応型洗浄技術(150ml～2,000ml)			
技術の分類	ガラスびん洗浄リユース			
目的・用途	南九州における統一びんリユースシステム事業			
特長	南九州エリアの多品種に対応できるねリユースびん事業			
設備、製品等の写真、イメージ	 Rマーク			
処理フロー図	 <pre> graph LR A["業務用 (居酒屋・スナック)"] --> B["酒小売店"] C["一般消費者"] --> B B --> D["びん洗浄工場 保管・選別・洗浄・検査・梱包・出荷"] D --> E["ボトラー 清酒・焼酎・他食品会社"] </pre>			
廃棄物の種類	有償	ガラスびん	受入条件、形状	キズ・汚れのないもの
	有償	古紙	受入条件、形状	不純物を含まないこと
供給資源・製品	洗浄びん		形状	150ml～2000ml
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	有価物	・廃棄物処理費用負担から有価物になる。	
	製品購入者側のメリット	社会的責任・効率化	・生産者としての回収責任、レンタルケース使用での効率化	
	その他		・環境省 平成15年・16年度(循環型社会形成実証事業)	

24.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ガラスびん	5,000	6,000	t
	古紙	-	1,500	t
受入可能量	ガラスびん	-	8,000	t
	古紙	-	6,000	t
販売実績量の推移	洗浄びん	4,500	5,000	t
	古紙	-	1,500	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	九州内の清酒・焼酎メーカー及び食品会社			